

地域の可能性を引き出す、協力者。



今月のかけ橋人
地域のきずな
かける 橋本人



橋本市初の地域高齢者食堂を運営
Kitchenかむろの皆さん

学文路地区で移動スーパーの運用が始まった時に、地域の人から「最近ずっと、一人でごはんを食べている」という声を聞いたのが、高齢者食堂を始めたきっかけです。1年かけて準備にとりかかりましたが、地域内に管理栄養士や調理師など心強い仲間が次々と見つかり、食堂をオープンすることができました。

来店された人が、おいしいと喜んで、久しぶりに知人と出会う様子を見るとうれしく思います。地域の人が、毎月の食堂の開催を楽しみにして、生きがいを感じてもらえるような食堂にしていきたいです。

市の地域活性化のために活動してくれている「地域おこし協力隊」や「地域プロジェクトマネージャー」を存じます。現在、地域おこし協力隊2人、地域プロジェクトマネージャー1人が市内で活動しています。今回は、3人の自己紹介や活動内容、今後の展望などを紹介します。住んでいても気づいていない橋本市の魅力を発見できるかもしれません。【シティプロモーション課・農林振興課】

地域おこし協力隊と
地域プロジェクトマネージャー

地域おこし協力隊、地域プロジェクトマネージャーとも、3年間を上限として橋本市のために地域活動に奮闘しています。市では、平成30年度から地域おこし協力隊を、令和4年度から地域プロジェクトマネージャーを受け入れています。

地域おこし協力隊って？

過疎や高齢化が著しい地方において、都市部の人材を受け入れて、地域おこし活動の支援や地域づくり、農林漁業の応援、住民の生活支援など「地域協力活動」に従事してもらいます。併せて、隊員の移住定住・定着を図りながら地域力の維持・強化を図ることを目的とし、地域活性化に貢献する制度です。

地域プロジェクトマネージャーって？

地域の活性化において、自治体が重要プロジェクトを実施する際に、関係者同士の話し合いが円滑に進むよう橋渡しをしてもらいます。また、プロジェクトを運営する「ブリッジ人材」として、プロジェクトを着実に成果へとつなげる活動を行う制度です。

目次
CONTENTS

- 3 特集 地域の可能性引き出す協力者
- 8 特集 物価高騰に対する支援策
- 12 特集 きらり vol.64
- 16 情報ワイド
 - ▶スマートフォン教室の開催
 - ▶ファミリーシップ宣誓制度 など
- 20 情報ひろば
- 28 タウン情報
- 29 子育てぱーく
- 30 本のひろば
- 31 健康カレンダー
- 32 フォトピックアップ

今月の表紙



特集「地域の可能性を引き出す、協力者。」の取材では、たき火を囲んで、皆さんの思いを語っていただきました。